推進隊だより

H２７.４月発行

教育福祉部会　活動報告

バレンタイン♥イルミネーション in NIO 2015 第2章『巡り愛の感動』

２月１４日のバレンタインデーに合わせ、イルミネーション点灯式典を仁尾町体育センターにて開催しました。

会場では、地元の児童・生徒らによる合唱やダンス・吹奏楽演奏のほか、今年は香川高専詫間キャンパスの学生が、「仁尾竜まつり」の雨乞い竜をモチーフに作成した「プロジェクションマッピング」を初披露。建物の壁面に映し出された迫力ある映像と音楽は、見る人を感動の渦に包み込みました。

また庁舎周辺には高さ約９メートルのツリーをはじめ、約４０点のオブジェに光が灯され、訪れた人の目を楽しませていました。ご出場頂いた皆様はじめ、設営や運営にご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

【司会を担当してくれた中学生４名】

【仁中・笠田高吹奏楽コラボ】

【児童館ちびっこ清掃探検隊】

【南京玉すだれ愛好会】

【仁尾小学校５・６年生有志】

【曽保小学校オレンジキッズ】

【仁尾ジュニア新体操クラブ】

【詫間シーマックス ダンスチーム】

【支所周辺を明るく彩るイルミネーション】

【なすキング＆みとよん】

【香川高専詫間ｷｬﾝﾊﾟｽのﾌﾟﾛｼﾞｪｸｼｮﾝﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ】

防災講演会開催　「向こう三軒両隣。日頃からご近所さんと情報交換を！」

３月４日（水）午後７時より仁尾町文化会館にて、三豊市と共催で防災講演会を開催しました。

講師に丸亀市川西地区自主防災会会長の岩崎正朔さんをお招きし『災害前の予防対策』という演題のもと、自治会長・消防団・自主防災組織・各種団体・一般市民など約 100 名の参加がありました。

東日本大震災や昨年発生した広島の土砂災害の状況を例に、日頃からの備えや心構えなど、また地域ぐるみで行う防災対策の必要性をお話し頂きました。住民目線の親しみ易く聞き易い講演に参加者は熱心に耳を傾けました。

そして災害発生時には、近隣住民同士の協力が何より重要だということ、その為のコミュニケーションを日頃から大切にしてほしいとの講師の言葉が印象的でした。

近年、希薄になっていると言われる地域や隣人との絆。普段からさりげなく見守り助け合う仕組みを、改めて考える必要があるのかもしれません。

安心安全部会　曽保地区防災訓練

２月 22 日(日)曽保地区防災訓練が行われました。近い将来に大きな被害が予想されている、南海トラフ巨大地震の発生を想定して、防災無線の放送を合図に各自治会の一時避難所へ、そして安全を確認した後に指定避難所である曽保小学校へ避難しました。

小学校では、初期消火訓練や倒壊家屋からの救出訓練、AED を使用した救急救命訓練などの実戦的な訓練を行った後、地元消防団による放水訓練や炊き出し訓練で作った豚汁やおにぎりの試食を行いました。

曽保地区では、昨年９月に地区全世帯を会員とした”曽保地区自主防災組織連合会”が発足して以来、初めての訓練でしたが約 230 名に参加いただき、大変有意義な訓練になりました。参加者からは、『心肺蘇生法を初めて学べて良かった』『地域内や避難経路にも急傾斜地などがたくさんある、気を付けないと…』などの声が聞かれました。

いつ発生するか分からない自然災害ですが、普段から被害を想定して、命を守る備えを行っておくことが大切です。皆さまのご家庭でも、ぜひ防災について話し合ってみましょう！

観光部会　保存版ガイドブック「仁尾のええもん・食べるとこ編」ができました！

合併から 10 年。旧町時代に使用していたパンフレット類は名称の変更など内容が実情に合わなくなり使用できず不便を強いられていました。そこで観光部会では住民の方はもとより町外からの訪問者も仁尾の最新の情報を得られるようにガイドブック「仁尾のええもん」を製作することになりました。

第一弾の「食べるとこ編」を皮切りに、蔦島をはじめとする自然美や神社仏閣と町並み、ハイキングコース、名産品などを順次紹介することにより、町内外に仁尾の魅力を発信していきます。日々の暮らしや訪問客への“おもてなし”にご利用ください。

まちづくり推進隊仁尾
ＴＥＬ：0875-82-5207
E-mail：niotai@mx36.tiki.ne.jp
〒769-1406　三豊市仁尾町仁尾辛 34 番地 2
ＦＡＸ：0875-82-5213
ＨＰ：http://sunshine.sun-age.or.jp/